

2025 年 9 月 1 日

2025 年度東北福祉大学卒業生アンケート調査の結果

東北福祉大学キャリアセンター

1. はじめに

キャリアセンターは東北福祉大学（以下、「本学」と表記する）の教育が就職先での仕事においてどの程度役立ったかを評価するため、卒業生に対して 2025 年 6 月 1 日から 6 月 30 日にかけてアンケート調査を実施した。卒業生が在籍する事業所の協力のもと、入職後 1 年以上経過した 96 名に対し Google フォームを用いた調査票を配布し、51 名から回収することができた。回収率は 53.1%である。以下の項目ごとに集計結果をまとめた。

2. 調査結果

2.1 それぞれの能力について社会人になってから役に立ったと感じますか。

2.1.1 東北福祉大学の専門分野の知識・技法・技術

項目	割合
とても役に立った	15.7%
役に立った	74.5%
あまり役に立たなかった	9.8%
全く役に立たなかった	0.0%

専門分野の知識や技術は多くの卒業生にとって有用であったと評価されている。9 割以上が「役に立った」と回答しており、専門性が社会人生活において重要であることが示唆されている。

2.1.2 周囲と円滑にコミュニケーションする力

項目	割合
とても役に立った	21.6%
役に立った	68.6%
あまり役に立たなかった	9.8%
全く役に立たなかった	0.0%

コミュニケーション能力も高く評価されている。9 割以上の卒業生が「役に立った」と回答しており、社会人として必要なスキルとして重要であることが分かる。

2.1.3 幅広い知識や教養

項目	割合
とても役に立った	13.7%
役に立った	76.5%
あまり役に立たなかった	9.8%
全く役に立たなかった	0.0%

一般教養や幅広い知識が社会人生活に役立ったと感じる卒業生が多いことが明らかとなった。9割以上が「役に立った」と回答しており、知識の広さが仕事において有利に働くことを示している。

2.1.4 論理的に思考する力

項目	割合
とても役に立った	11.8%
役に立った	68.6%
あまり役に立たなかった	19.6%
全く役に立たなかった	0.0%

論理的思考力も多く卒業生にとって有用であったと評価されているが、少数派である19.6%の卒業生が「役に立たなかった」と感じている点には注意が必要である。

2.1.5 プレゼンテーション力

項目	割合
とても役に立った	11.8%
役に立った	49.2%
あまり役に立たなかった	39.2%
全く役に立たなかった	0.0%

プレゼンテーション力に関しては、約6割が「役に立った」と評価しているが、39.2%の卒業生があまり役立たなかったと感じている点が目立つ。この分野についてはさらなる強化が求められる。

2.1.6 主体的に行動する力

項目	割合
とても役に立った	11.8%

役に立った	62.7%
あまり役に立たなかった	25.5%
全く役に立たなかった	0.0%

主体的に行動する力も高く評価されているが、約 25%の卒業生があまり役立たなかったと感じており、この能力をさらに高める必要があることが示唆される。

2.1.7 新たな課題を発見する力

項目	割合
とても役に立った	9.8%
役に立った	70.6%
あまり役に立たなかった	19.6%
全く役に立たなかった	0.0%

新たな課題を発見する力に関しても高い評価を得ているが、約 2 割の卒業生はこの能力があまり役に立たなかったと感じている。

2.1.8 課題の解決に努める力

項目	割合
とても役に立った	9.8%
役に立った	78.4%
あまり役に立たなかった	11.8%
全く役に立たなかった	0.0%

課題解決能力に関しては、非常に高い評価を受けている。約 9 割が「役に立った」と回答しており、社会人として不可欠な能力であることが確認された。

2.1.9 周囲と協力して物事を進める力

項目	割合
とても役に立った	21.6%
役に立った	74.5%
あまり役に立たなかった	3.9%
全く役に立たなかった	0.0%

協力して物事を進める力は非常に重要であり、95%以上の卒業生が「役に立った」と評価している。この結果からも、チームワークは非常に重要であると言える。

2.1.10 多様性に関する知識・多様な考えを受け入れる力

項目	割合
とても役に立った	17.6%
役に立った	72.5%
あまり役に立たなかった	9.8%
全く役に立たなかった	0.0%

多様性に対する理解と受け入れる力も高評価を得ており、特に現代の社会では重要な能力であることが確認された。

2.1.11 社会の中で自立する力

項目	割合
とても役に立った	11.8%
役に立った	72.5%
あまり役に立たなかった	19.6%
全く役に立たなかった	0.0%

自立する力も高い評価を受けており、多くの卒業生が社会に出てから実感している重要なスキルであると言える。

2.1.12 強い信念を持って自らの人生を切り拓いていく力

項目	割合
とても役に立った	9.8%
役に立った	70.6%
あまり役に立たなかった	19.6%
全く役に立たなかった	0.0%

信念を持ち人生を切り拓く力についても多くの卒業生が評価しているが、一定の割合で「役に立たなかった」と感じる人もいる。

2.1.13 継続して学び続ける力

項目	割合
とても役に立った	19.6%
役に立った	72.5%
あまり役に立たなかった	7.8%

全く役に立たなかった	0.0%
------------	------

継続的な学習能力に関しても高評価を得ており、終身学習が社会人として重要なスキルであることが再確認された。

2.2 あなたが学生時代に取り組んでおいてよかったと思うことを選択してください。

項目	割合	(複数回答可)
学業	66.7%	
部活動・サークル活動	51.0%	
アルバイト	72.5%	
インターンシップ	5.9%	
ボランティア	31.4%	
留学	3.9%	
趣味の活動	29.4%	
その他	3.9%	
特にない	0.0%	

この結果から、学生が最も重要だと感じる活動がアルバイトであることが分かる。次いで、学業、部活動・サークル活動と続き、比較的多くの学生がこれらの活動を有意義だったと評価している。一方で、インターンシップや留学の重要性は低く、趣味の活動もやや少なめの評価となっている。

2.3 あなたが学生時代にもっと取り組めばよかったと思うことを選択してください。

項目	割合	(複数回答可)
学業	49.0%	
部活動・サークル活動	35.3%	
アルバイト	15.7%	
インターンシップ	23.5%	
ボランティア	31.4%	
留学	25.5%	
趣味の活動	35.3%	
その他	3.9%	
特にない	13.7%	

この結果から、学生が学生時代にもっと積極的に取り組みたかった活動は学業であるこ

とが分かる。次いで、部活動・サークル活動、趣味の活動、ボランティア活動と続く。一方で、アルバイトは低い割合となっており、学生時代に十分に活動できたことが示唆される。また、「特にない」の割合が 13.7%であり、学生時代の活動に満足している人も一定数いることが分かる。

3. 結論

アンケート調査の結果、ほとんどの能力が社会人生活において有用であると評価された。特に「課題解決に努める力」「周囲と協力して物事を進める力」「専門分野の知識・技法・技術」が高評価を得ており、大学での学びが実社会において活かされていることが明確になった。

一方で、「プレゼンテーション力」や「主体的に行動する力」については若干の改善の余地があると感じる卒業生も見受けられた。これらの分野については、さらなるカリキュラムの充実が求められる。